

甘酸っぱくて
おいしいーい



日吉ヶ丘保育園、南ヶ丘保育園の両園児 35 人が「ふるさと農園美の関」(大杉)を訪れ、初めてブルーベリーの摘み取りを体験し、畑ににぎやかな声を響かせました。園児らは青くたわわに実ったブルーベリー

の実を摘んでは口にほおぼって、そのおいしさを楽しみました。約3,000本のブルーベリーが栽培されている広い農園内で「あっちにまだいっぱいあるよ」と目を輝かせながら、季節の果物を味わっていました。

あんな事、こんな事

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



建設中の学び舎を探訪

昨年着工し、本年12月に完成予定で工事中の金竜小学校校舎改築について6月末現在、4階までのコンクリート工事が終了。全校児童が班ごとに分かれて、この建物内を見学しました。児童らは、完成時には見えなくなる天井裏など、自分たちの学ぶ教室が出来上がっていく様子に感心していました。「新しい校舎で勉強できることがとても楽しみ」と話しました。

人の和から音の和へ

中濃地区の中学、高校、大学の吹奏楽部が共演する「中濃吹奏楽まつり」が関市文化会館で初めて開かれ、迫力あるステージが繰り広げられました。県吹奏楽連盟創立50周年を記念して開催。出場校が市ごとに合同バンドを組んで、2~3曲ずつ演奏しました。最後はミナモも登場して、全員で国体応援ソングを熱演。満員の会場は一体となって、大いに盛り上がりました。





「さんかく」の思いを広げます

6月の男女共同参画週間中、市役所で推進ボランティア「さんかくサポーター」の会員らが、冊子を配布するなど啓発活動をして、意識向上を呼びかけました。来庁者は、りんごや葉っぱの形の紙に、思い思いのメッセージを書き込み「さんかくの木」に貼り付けたり、託された意見をまとめた冊子を手し、男女が同じように人として大切にされる社会を願いました。

スポーツを楽しむ子どもを育てよう

サッカー・FC岐阜のコーチングスタッフによるスポーツ教室が富野小学校で開かれ、全校児童がプロの指導を受けながらサッカーを楽しみました。各学年に合わせた授業で、鬼ごっこやボールコントロールのエクササイズ、ミニゲームなどをしました。児童の中には、ボールを蹴ってそのままゴールに飛び込む元気な姿も見られました。プロ選手とふれあいながら、スポーツの基礎と面白さを体得しました。



高い技術力で優勝振り返り

三重県の鈴鹿サーキットで開かれた、燃費性能を競うエコランカー（自作自動車）のレース大会で、関商工高校機械部3年生チームが2年ぶりの優勝（4年連続入賞）を果たしました。大会当日は雨に見舞われ、前方の視界が妨げられる悪条件の中、経験を生かして完走第一の慎重な運転に徹すると、唯一リッター500キロ台の燃費で見事に優勝しました。毎日こつこつ学習、制作を続けてきた成果が証明されました。

お絵かきボード大人気

公園をより親しみやすくしようと、春里町の^{ひばり}公園に「お絵かきボード」が完成。訪れる子どもたちの人気を集めています。公園整備に協力した関商工高校土木科生徒が考案。チョークを使って、自由にのびのびと地面に落書きができる4メートル四方のボードが設置されました。隣接する中濃保育園の園児は、手を真っ白にしながらいっぱい描いていました。



こぼれ話



過疎地域に地域づくりの人材を投入して、元気なふるさとづくりを目指す「地域がんばり隊員」の活動が始まっています。県の緊急雇用創出事業により離職者を雇用、採択を受けられた市内3人の隊員が、農山村の活性化のために集落支援に取り組まれるものです。隊員は、洞戸地域で「キウイの里、洞戸復興プロジェクト」と武芸川地域で「つるむらさき大作戦」の事業についてそれぞれ活動されます。洞戸特産キウイの研修拠点の整備や特産品開発、農政全般のサ

ポート、また、武芸川特産つるむらさきの農作業や販売PR、地域高齢者の生活支援などを行うそうです。

隊員の皆さんに話を伺うと、「田舎暮らし」がしたいとの思いで県外から引っ越された方、介護の仕事から食の流通と農業に興味を持ち転職した方、70歳でもまだまだ働きたい方と三者三様の思いを聞くことができましたが、いずれも「地域に貢献したい」という強い熱意が感じられました。担い手が少ない地域にとっても貴重な存在で、地域の良いところ、田舎暮らしの素晴らしさを伝えていってくれるものと思います。